

光で住みやすい環境をつくる トリプルポーラス光触媒

神奈川県立産業技術総合研究所 機械・材料技術部

> 主任研究員 小野 洋介 2025年1月21日

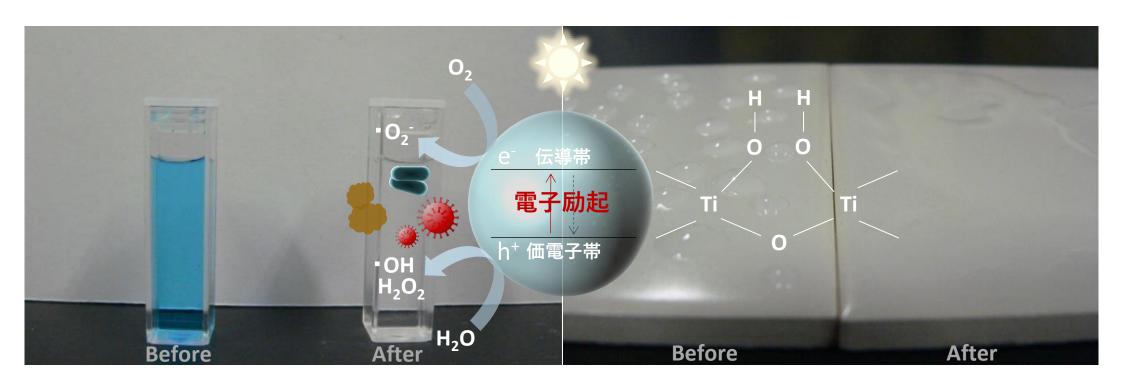




酸化チタン光触媒

1:有機物分解

②:表面超親水性化

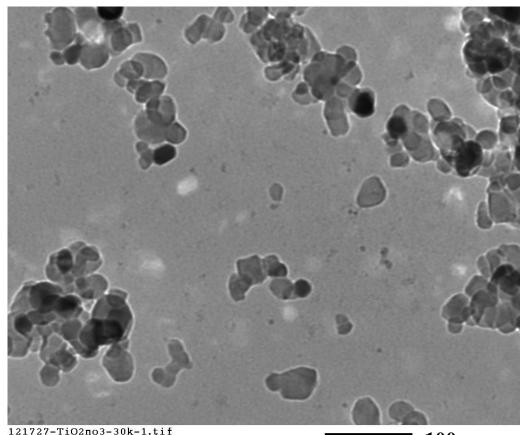


防汚、消臭、抗菌、抗ウイルスなどに利用されている。



従来技術:光触媒

- ▶市販品では、主にナノ粒子の酸化チタンが使われている。
 - ※シンプルに微細化によって比表面積を 高めている。
- ●数十~数百 m²/gの比表面積 (直径数~数十nmの略球状)
- メインの結晶相はアナターゼ

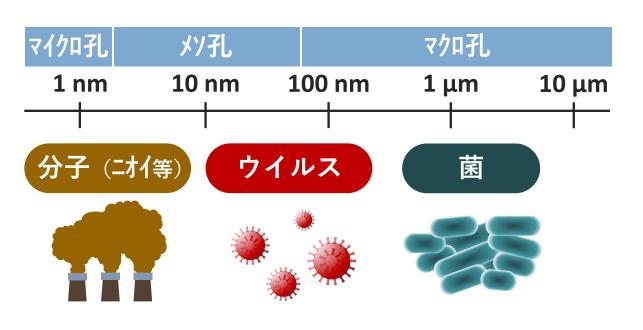


100 nm



従来技術:トリプルポーラス

▶マイクロ孔&メソ孔&マクロ孔を持つカーボンが知られている。



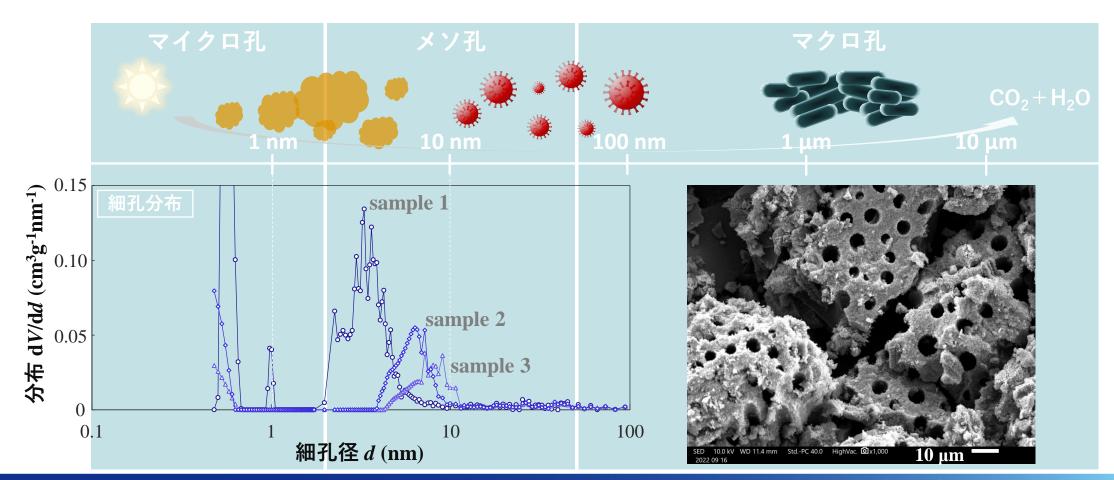
- 吸着速度が速い
- 臭い・ウイルス・菌を吸着除去する





新技術 (材料)

▶マイクロ孔&メソ孔&マクロ孔を持つ酸化チタン:トリプルポーラス光触媒





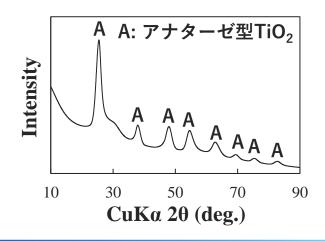
特徴:シンプルな製法

Ti源となる試薬に水をスプレーで吹きかけるだけで作製できる。



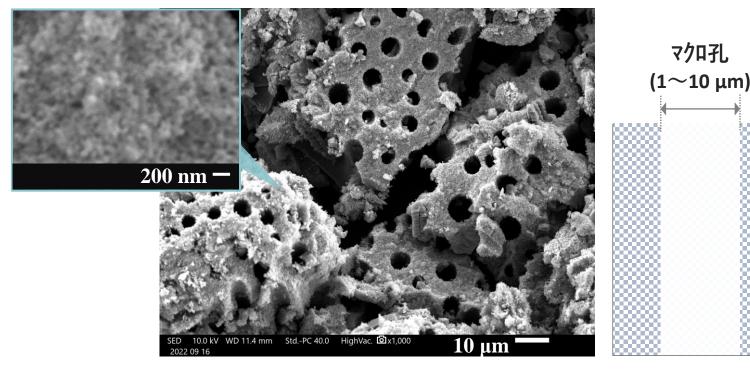
- 急激なTiO₂粒子の析出 →マイクロ孔&メソ孔の形成
- 試薬と水の不混和 (分相)
 →マクロ孔の形成

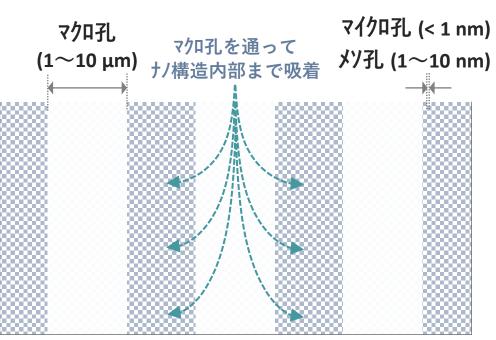






特徴:連結する孔構造



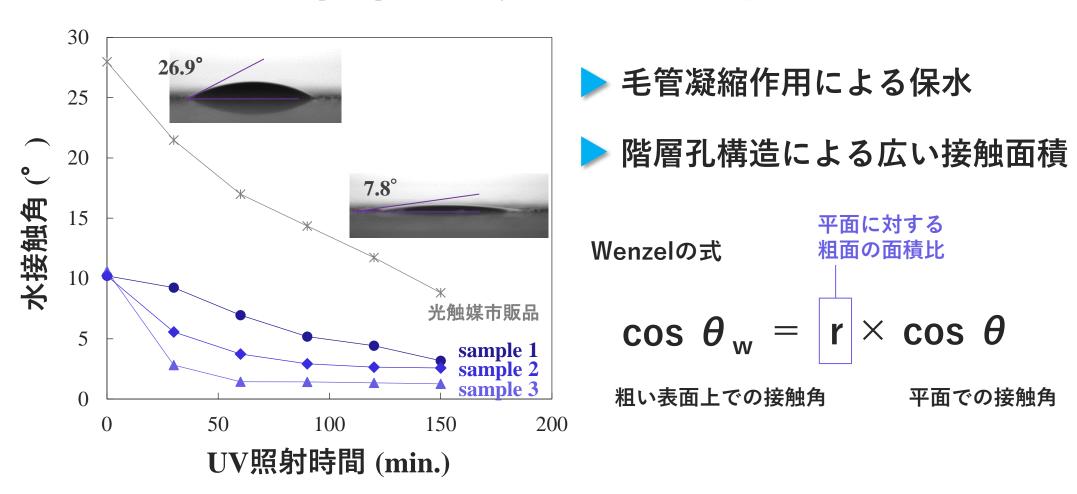


光触媒市販品(従来品)と同レベルの大きさのナノ粒子が 凝集してトリプルポーラス構造を形成する。

→ マクロ孔の形成と高い比表面積(MAX. 405m²/g)の両立



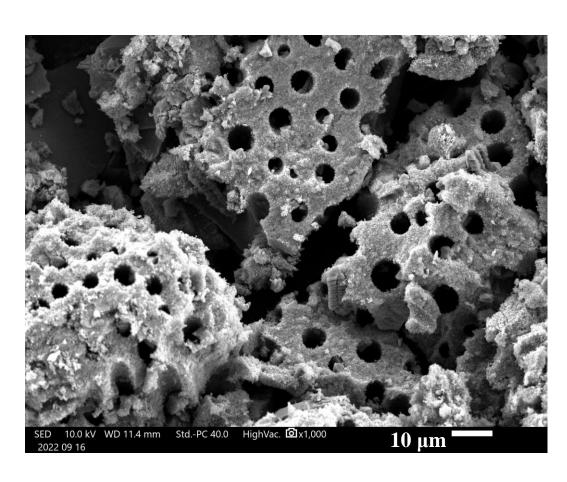
特徴:表面親水性

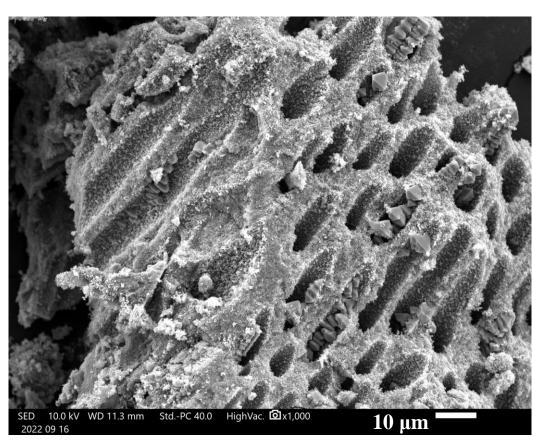


日の当たらない場所でも高い表面親水性を示す。→ 防汚性



特徴:レンコンライク構造

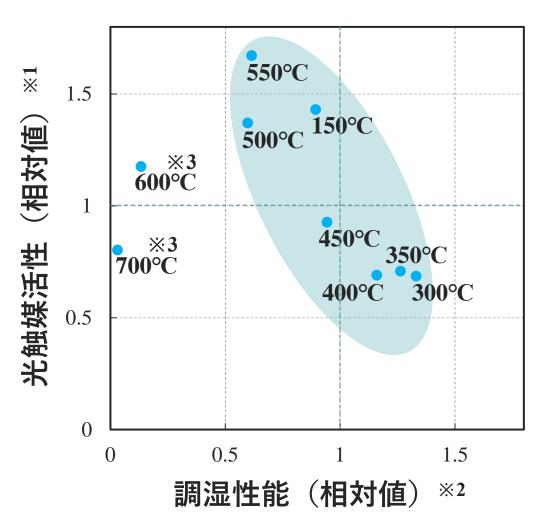




製品化に至った際には、唯一無二の特徴を視覚的にPRできる。



特徴:光触媒活性&調湿性能の両立



- ※1) 市販の光触媒粉末の分解速度を1として表す相対値。 メチレンブルー水溶液中に試料を投入してUV照射し 退色速度を分光光度計で測定して評価した。
- ※2) 市販のアロフェン粉末の調湿性能を1として表す相対値。 温度27℃、湿度90%に設定した恒温恒湿槽内に試料を 設置し重量変化を測定して評価した。
- ※3) 600°C試料と700°C試料は参考データ。この2試料はマイクロ孔を持たないため"トリプルポーラス"ではない。

ウィズコロナ・アフターコロナ時代において ニーズが高まると期待





課題

■試料作製のスケールアップ

実績:1回の実験に数グラムまで

> 実用条件に即した性能評価

実績:「光触媒性能評価」メチレンブルー水溶液懸濁試験のみ

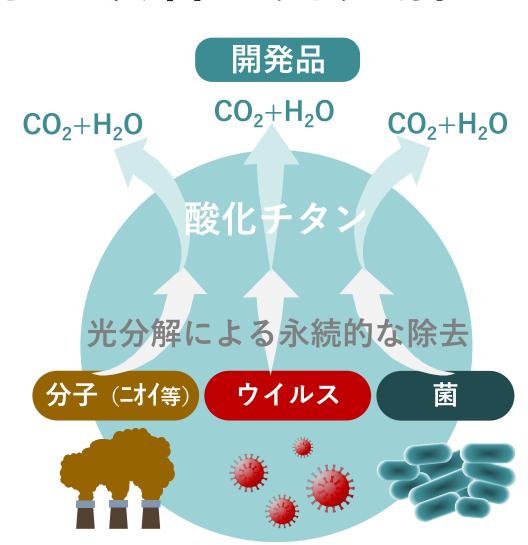
[調湿性能評価] 恒温恒湿槽内の粉末重量変化で評価



想定用途:3種の孔で吸着&光分解

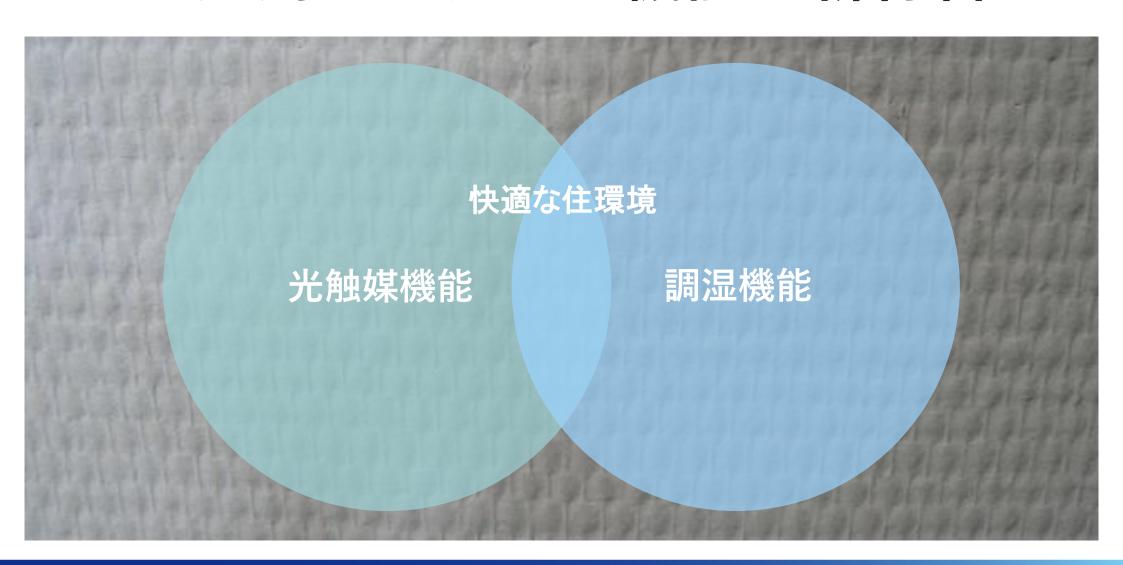
カーボン 吸着除去 ウイルス 分子 (二才(等) 菌

従来品





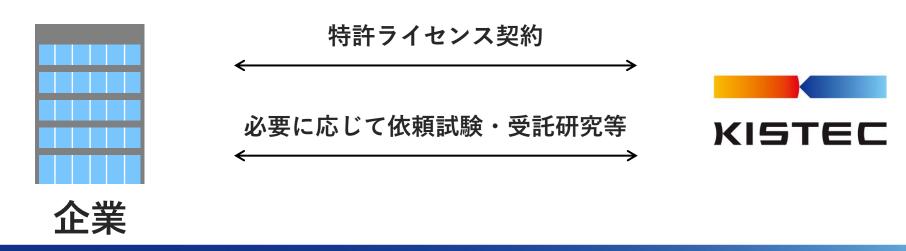
想定用途:ダブル機能の新材料





企業への期待

- ▶ 特許ライセンス契約による技術移転 → 製品化
- サンプル提供希望の場合は、依頼試験や研究受託等も検討※外部資金への共同申請の可能性もあり







本技術に関する知的財産権

発明の名称:階層的な孔構造を有する多孔質

酸化チタン凝集体、及びその製造方法

出願番号 : 特願2023-002016

出願人 : (地独)神奈川県立産業技術総合研究所

発明者 : 小野 洋介



新技術説明会での発表と実績

令和2年度発表

「人工オパールによる構造発色技術」

サンプル提供契約(有償提供) 10社以上



<取材記事>

コンバーテック vol.568 (2020) 18-20., サポートかながわ vol.262 (2023) 8-9. someone vol.62 (2023) 8-9.

<解説記事>

プラスチックス vol.74 [2] (2023) 63-66., 粉体技術 vol.16 [3] (2024) 38-42.

<受賞>

IAUD国際デザイン賞2021 未来への提案部門 銅賞 日本デザイン学会 第70回研究発表大会 グッドプレゼンテーション賞 (2023年) 日本デザイン学会 第71回研究発表大会 グッドプレゼンテーション賞 (2024年)



新技術説明会での発表と実績

令和3年度発表

「鹿児島県産シラスを活用した軽石状ゼオライト複合体」 企業との共同出展・NDA締結、試験受託、講師依頼



<TV放送>

テレビ東京WBS (新技術発表会発表以前)、NHKニュースウオッチ9 (新技術発表会発表以前) 首都圏ネットワーク、NHKニュース7、テレビ朝日サンデーLive!!、 日本テレビZIP! 等

<解説記事> ゼオライト vol.39 [4] (2022) 144-148.





お問い合わせ先

神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC) 研究開発部 研究推進課

e-mail sm-ipctr@kistec.jp

※技術に関するお問い合わせに関しては、 KISTECホームページのメール技術相談 フォームをご利用ください。

